

よみ

うおごころ
みずごころ
魚心あれば水心

なぞりがき

魚心あれば水心

いみ

あいて こういてき
相手が好意的ならば、こちらもおう
こういてき
好意的になる。

よみ

うじ そだ
氏より育ち

なぞりがき

氏より育ち

いみ

いえがら みぶん
家柄や身分よりも、
そだ かた
育て方やしつけが
にんげんけいせい たいせつ
人間形成に大切である。

よみ

うそ
で
まこと
嘘から出た実

なぞりがき

嘘から出た実

いみ

うそ
嘘のつもりで言ったことが、
ほんとう
本当になってしま
うこと。

よみ

うそ
どろぼう
はじ
嘘つきは泥棒の始まり

なぞりがき

嘘つきは泥棒の始まり

いみ

へいき
うそ
ひと
ぬす
へいき
平気で嘘をつく人は、盗みをするのも平気になっってしまう。

よみ

うちべんけい そとじぞう

内弁慶の外地蔵

なぞりがき

内弁慶の外地蔵

いみ

いえ なか い ば
家の中で威張っている人が、
外では気が小さ
くおとなしくなること。

よみ

うま みみ ねんぶつ
馬の耳に念仏

なぞりがき

馬の耳に念仏

いみ

よい いけん
良い意見やアドバイスをしても、
こうか
効果がない
こと。

よみ

うみ せんねんやま せんねん
海に千年山に千年

なぞりがき

海に千年山に千年

いみ

けいけんゆた
経験豊かで、
ぬめ
抜け目がなく、
したたかな人間
にんげん
のこと。

よみ

え て ほ あ
得手に帆を揚げる

なぞりがき

得手に帆を揚げる

いみ

じぶん とく い おこな こうき めぐ
自分が得意にすることを 行う 好機に恵ま
れ、勢いづいて物事を行うこと。
いきお ものごと おこな

よみ

絵えに描かいた餅もち

なぞりがき

絵に描いた餅

いみ

じっさい やく た
実際の役に立たないこと。または、実現が難
くそう けいかく
しい空想や計画のこと。

よみ

えび たい っ
海老で鯛を釣る

なぞりがき

海老で鯛を釣る

いみ

ろうりよく もとで おお りえき せいか
わずかな労力や元手で、大きな利益や成果
え
を得ること。